

## ナガバギシギシ (長葉ぎしぎし)

名前の意味：葉が長いギシギシ。ギシギシは茎をしごいた時に出る音の擬音。

分類：双子葉類、タデ科、ギシギシ属

(タデ科の栽培植物：ソバ)

好きな場所：日当たりのよい湿った場所

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：ユーラシア原産

特徴：大きなみずみずしい葉と茎、三角錐の実

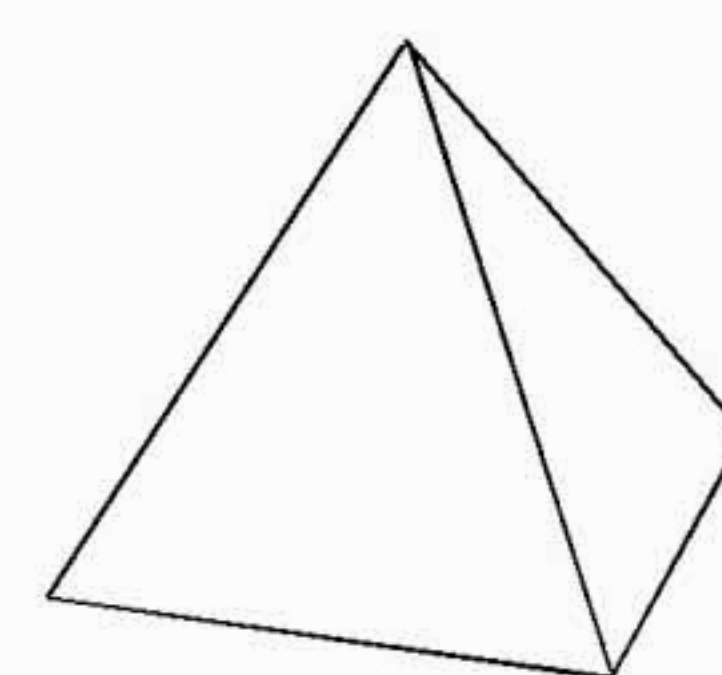
種子の運ばれかた：そのまま落ちる

花弁の数：花弁はない

花の時期：5—6月

食べ方：食べられるけれどもおいしくない

見分け方：アレチギシギシは、葉が小さく、枝分かれが多い。スイバは、葉が矢尻形で、雄雌がある。



三角錐

見つけやすさ ★★★★★

見分けやすさ ★★★

総合難易度 ★★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)